



現場が
必要不必要なものを、
正しく判断できない。

社員が
“自分の役割”として
考えてくれない。



指示がないと
動かない。
行動できる社員が
少ない。



部門内で
共通認識が薄い、
ばらつきがある。



組織の特性が不明、
どう最適化すれば
いいのか？

多くの場合、必要なのは経営者の方向性と
社員一人ひとり**“行動につながる理解”**です。



組織の意識をアップデートする研修

本研修は、現場が“やらされ感”ではなく、
自ら考え、判断し、動ける社員を育てるための行動変容プログラムです。

STEP1



まず「気づき」を生む

漫然とした業務や潜在的なリスク、見過ごされている非効率、実は日々の“当たり前”の中に潜んでいます。本研修では、事例とワークを通じて「なぜ今それが必要なのか」を整理し、自分ごととして考えられる視点を身につけます。

STEP2



組織に合わせた“最適化”

知識だけを学ぶ研修ではなく、会社の状況・業界特性・現場の課題に合わせてカスタマイズ。「うちの会社ではどう活かせるか？」という視点で整理するため、“気づき”が現場の判断につながります。

STEP3



「動ける」実践ステップ

研修で得た気づきを行動で終わらせないため、現場ですぐに使えるチェックリストや実践手順を準備しています。「まず何を始めればいいのか」が明確になり、研修後の動きに一貫性とスピードが生まれます。

まずはお気軽に
お問合せください！

✉ contact@cavp.jp



メールから
のお問合せは
←こちらから



詳しい研修資料の
ダウンロードは
←こちらから

社員の意識と行動が整う3つの研修

研修タイプ1

DX推進の意識を社員に身につけさせたい

50分×2回

※実施内容により増減があります

DX推進の鍵は、社員一人ひとりのデジタル理解度。
本研修では、難しいIT用語を排し、
データの基本・DXの考え方・現場への落とし込み方を
実例で分かりやすく解説します。
「分からない」を「分かる」に、
そして「分かった」から「やってみよう」へ。

こんな企業におすすめ

- ☑ デジタル化が進まず、現場の理解が追いついていない
- ☑ データ活用が課題だが、何から始めるべきか迷っている
- ☑ 組織全体に“共通言語”を持たせたい

Point

- IT・DXの基本が“不安なく理解”できる
- チームで共通認識が生まれ、業務改善が進む



研修タイプ2

リスク管理を社員に身につけさせたい

50分×4回

※実施内容により増減があります

社内の事故・SNS炎上・メール誤送信——
多くのトラブルは「知らなかった」「思い込み」で
起こります。本研修では、情報セキュリティ・
SNSリスク・現場の判断軸を
“社員目線で理解できる”内容で体系化。
「自分の行動が会社を守る」という意識を育てます。

こんな企業におすすめ

- ☑ SNS・情報漏えいリスクに不安がある
- ☑ 些細なミスが繰り返し発生している
- ☑ リスク管理の理解が部署ごとにバラバラ

Point

- 自分事として理解し、ミスを未然に防ぐ
- 見落としやすいリスクを“気づける”社員が増える



研修タイプ3

社員にコスト意識を持たせたい

50分×3回

※実施内容により増減があります

業務の効率化・ムダの削減・判断のスピードを
高めるには、社員一人ひとりの“コスト感覚”が
不可欠です。本研修では、現場データの見方、
売上・利益・原価の基本構造を分かりやすく解説。
数字を判断軸にできる社員を育てます。

こんな企業におすすめ

- ☑ 原価高騰・人件費増で現場に判断力を持たせたい
- ☑ 管理職だけでなく現場全員に“経営視点”を持たせたい
- ☑ データをもとに意思決定する組織にしたい

Point

- コスト意識が定着し、無駄が減る
- 現場が“数字で判断する文化”に変わる



沖縄から、現場に寄り添うデジタル研修を。リテラシー教育・データ活用・DX推進を通じて、「人」と「情報」をつなぐ伴走型パートナーです。



合同会社 Canvas Planning

那覇市牧志3丁目3-1 ガープ川中央商店街2階

www.cavp.jp



詳しい研修資料が
ダウンロードできます。



講師プロフィール

村井 豊一（むらい とよかず）

民間企業・行政・教育機関を横断し、
“人が動く”ための実践的なプログラムを得意とする。
デジタルリテラシー／DX・データ活用／リスク管理・情報セキュリティ
行動変容を軸に、自治体・企業300件以上の研修・DX支援に従事。
（公財）沖縄県産業振興公社 登録専門家

まずはお気軽にお問合せください！

✉ contact@cavp.jp